

# 未来に残したい旭区50景

「未来に残したい旭区50景」は、旭区誕生40周年の際に選定された「旭40景」に、新たに10か所を加えたものです。古くからの言い伝えが残る史跡や、新たな賑わいを見せるスポットなど、区内の至る所に魅力的な風景が広がっています。



※この地図は概略図のため、多少の誤差があります。ご了承ください。



## 第1景 畠山重忠公史跡群

畠山重忠公は、平安時代末期から鎌倉時代初期に活躍した武将で、鎌倉幕府の創設にも力を尽くした源頼朝の忠臣でした。しかし、幕府の権力争いにまきこまれ、鎌倉に向かう途中、現在の鶴ヶ峰付近で討ち死にしました。地元の人たちの間では、その人柄をしのび、850年以上がたった今も語り継がれています。旭区内には、重忠公ゆかりの史跡が多く残されています。



畠山重忠公碑



六ツ塚



駕籠塚



首塚



遺烈碑



## 第2景 帷子川親水緑道

帷子川親水緑道は、区民が水辺に親しめるよう「水と緑のプロムナード事業」の一環として昭和63年(1988)に整備されました。

中島や池、吊り橋の奥にはバードウォッチングゾーンもあり、自然を活かした川岸と覆いかぶさる木々と竹林が、渓谷のような風景を創りだしています。平成20年度、この親水緑道は、都市景観大賞「美しいまちなみ特別賞」を受賞しました。



## 第3景 嶋崎金子稻荷社のタブノキ

このタブノキは、樹齢約300年と推定されています。このような古木が、単木で生活域に残されているのは、全国的にも珍しく「かながわの名木100選」に指定されています。



## 第4景 田原橋公園

この公園の蛇行する水辺は、昭和30年代の帷子川の流れをほうふつとさせます。水辺には、湿生植物を植え、水底に段差をつけて様々な生き物が生息しやすいように工夫されています。





## 第5景 白根神社・白根不動

白根神社(左)の本尊は、1寸7分(約5センチ)の不動明王の座像で、弘法大師の作とされています。前九年の役(1051~62)で、源義家がこの不動明王を兜の中に納めて大勝したことから、そのお礼として康平9年(1063)に鎌倉権五郎景政に命じてお堂を造営させたのが社の始まりとされています。広い境内には白根不動(右)も建立されており、昭和10年頃までは雑市や幟市が開かれていたということです。



白根神社



白根不動

## 第6景 白糸の滝

昔、白根地区にあったという大きな直滝が「水と緑と歴史のプロムナード事業」の一環として修復されました。滝のそばには、防人とその妻の相聞歌の歌碑があります。



## 第7景 帷子川分水路 取水庭

取水庭は、帷子川が大雨等で一定の流量を越えた時、分水路トンネルに雨水を流し込み、横浜港へ放流して、洪水を防ぎます。平成9年(1997)完成。



## 第8景 内藤鳴雪の句碑

上白根で俳句の会を主宰していた高橋紅子が内藤鳴雪の句碑を建てることにしました。鳴雪は、村人みんなが俳句をつくることに感心し、当地におもむき「夫は夫たり、婦は婦たりてぞ松涼し」と一句詠み、その句は碑に刻まれました。





## 第9景 ふるさと尾根道緑道と中堀川プロムナード



ふるさと尾根道緑道は、旭区の背骨にあたる稜線ー鶴ヶ峰配水池からズーラシアまでの導水路敷ーに沿って整備された遊歩道です。春は桜並木が美しく、平成12年度に国の「都市景観大賞」を受賞しました。



中堀川プロムナードは、雨水排水路として使われていた中堀川を下水道整備に伴い、せせらぎが流れる水と緑が豊かなプロムナードとして再生したものです。

## 第10景 鈴木家長屋門

長屋門とは、門の左右に居室等が接続している建築物のことで、使用人の居住用などに使われました。屋敷内には「たのかんさあ」(田の神様)という石像もあります。※敷地内立入不可



## 第11景 清来寺

江戸時代末期に、畠山重忠公の武勇をたたえるために編集された「夏野の露」という絵巻が伝えられています。





## 第12景 長源寺(上川井学校仮校舎)

開山が天平11年(739)といわれる由緒あるお寺で、永長年間(1096~97)には源義家が鎧を納めたと伝えられています。明治13年(1880)から2年余り、上川井学校の仮校舎として使用されていました。



## 第13景 水道道トロッコ史跡

明治20年(1887)わが国最初の近代水道が横浜に創設されました。運搬手段のなかった当時、鉄管などの運搬用にレールを敷き、トロッコを使用して水道管を敷設しました。そのレールが、八王子街道の歩道(川井本町川井橋付近)に保存されています。



## 第14景 大貫谷戸水路橋

「神奈川の橋100選」に選ばれている横浜市水道局の鉄鋼製水路橋で、昭和27年(1952)に完成しました。橋長306m、トレスル橋脚を有する長大水路橋として全国的にも珍しい存在です。



## 第15景 旧八王子街道

旧八王子街道は、国道16号とからみあうような形で、今も大部分が残されています。八王子方面からは絹織物、横浜からは海産物などが行き交いました。区内には旧道の趣きが、亀甲山付近に一部残っています。





## 第16景 矢指・追分市民の森

春には菜の花、桃の花、夏はヒマワリ、秋にはコスモスの花畑が楽しめます。



八重ひまわり

## 第17景 下川井農業振興地域

露地野菜を中心にキャベツ、サツマイモ、ジャガイモ、サトイモ、トウモロコシ、ネギ、ダイコン、ハクサイ、ブルーベリー等が生産されています。







## 第18景 帷子川源流

若葉台団地そばに、帷子川の水源の一つがあります。上川井町小川アメニティとして整備されています。



## 第20景 希望が丘水の森公園

この公園の湧き水は、帷子川の源流の一つとなっています。源流となる湧き水が、市街地の中に残されているのは大変珍しく貴重な環境となっています。水源の周りには全国の湖沼や水路などに生息するヘラオモダカの水草が生い茂っています。

## 第19景 野境道路の桜並木

笹野台の西側を通る野境道路は、かつての武蔵国と相模国の国境の道です。桜の並木道は、春には見事な桜のトンネルとなり、夏は葉桜の木陰が涼しい通りとなります。



## 第21景 ねこ塚

元禄年間(1688~1703)の頃、巡礼中のおばあさんが善部の村を通りかかり、飢えと疲れのため亡くなりました。そばで一匹のねこがしきりに鳴いていましたが、間もなく後を追うように死にました。村人はその場におばあさんとねこを埋め、塚と石碑を建てて供養しました。それ以来「ねこ塚」と呼ばれています。







## 第22景 春ノ木神明社

江戸時代初期に起きた伝染病を鎮めるため、大切な家財道具などを神社境内に持ち寄って焼き、灰にして埋めた密教塚とも言われています。境内は、海拔92メートルと横浜市内の神社の中でもっとも標高が高く、プロサッカーチーム横浜FCの選手らが必勝祈願に参拝しています。



## 第23景 善部町のイチョウ並木

善部町第一公園付近から瀬谷区境にかけて、約600mにわたり、イチョウ並木が続いています。



## 第24景 新幹線(善部町)

旭区を東西に走りぬける東海道新幹線は、東京オリンピック開会の直前に開業(昭和39年(1964)10月1日)しました。

## 第25景 長昌寺と七地蔵

境内には、イボ取り地蔵があります。お地蔵さんの台座に上がっている小石を借りてイボをこすると、イボが取れるところから名付けられました。





## 第26景 こども自然公園

緑と水が豊かなこども自然公園は、市内有数の桜の名所です。春のお花見、夏のゲンジボタル、秋は紅葉、冬は渡り鳥など、四季折々の自然を楽しむことができます。また、園内の万騎が原ちびっこ動物園や青少年野外活動センターでは、より深く自然を理解することができます。

昭和47年(1972)6月開園

面積 464,118㎡



## 第27景 自然公園通り

二俣川駅とこども自然公園を結ぶイチョウ並木。この地は、畠山重忠公と北条勢が刃をまじえた古戦場と言われています。通りからやや離れたところに、明治25年(1892)に土地の有志57人により建立された「畠山重忠公遺烈碑」があります。





## 第28景 三佛寺

明治6年(1873)、三佛寺に二俣川学舎が設けられました。三佛寺は、武蔵国小机領子年観音霊場28番札所です。開基の地頭宅間治部少輔規富をはじめ、宅間一族の墓があります。



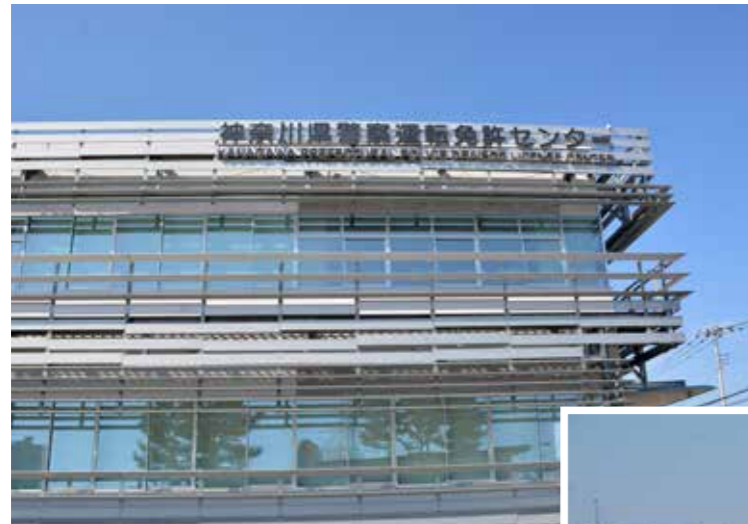
## 第29景 保土ヶ谷バイパス



旭区を南北に縦断する保土ヶ谷バイパス。昭和48年(1973)開通。平日昼間12時間の交通量は、10.4万台(平成27年度道路交通センサス)で、一般道路では日本一です。東名高速と首都高速を結ぶ重要なルートとなっています。







## 第30景 神奈川県警察運転 免許センター

県内で唯一の各種運転免許試験場。施設の老朽化に伴い平成30年(2018)にリニューアルしました。



## 第31景 二俣川ニュータウン の並木通り

ニュータウン通りは、約2kmにわたり両側にトウカエデやイチョウの並木が続き、新緑と紅葉の頃には美しい風景を満喫することができます。

## 第32景 本村神明社

この社は寛永19年(1642)に造営され、それ以来、二俣川村、今宿村の惣鎮守として多くの信仰を集めてきました。写真は6月下旬に開催された「茅の輪くぐり」という神事です。茅草で作られた輪をくぐり無病息災を祈願します。



## 第33景 旭区から望む富士山



ココロット鶴ヶ峰屋上より







## 第34景 今川公園

グラウンド、テニスコート、多目的広場、日本庭園、遊具、芝生などの施設が整っています。遊具の種類も豊富で、子ども連れの家族が1日中楽しめる公園です。

開園 平成4年(1992)6月  
面積 83,009㎡



## 第35景 浄性院

境内にある洪鐘(おおかね)は、区内で最も古く、天明8年(1788)に鑄造されたものです。浄性院の裏手には「おかご坂」とよばれた坂があります。鎌倉時代、源頼朝がこのあたりに遊獵にきた時、輿をここに置いたためにこう呼ばれるようになったと伝えられています。



## 第36景 環状2号線

市沢町を横切る環状2号線(通称環2)は、平成10年(1998)鶴見区から磯子区まで暫定開通しました(一部2車線)。

## 第37景 市沢の谷戸 「蛸の里」

ゲンジボタルの棲息地。6月初旬にはホタルの乱舞が見られます。





## 第38景 ひかりが丘団地

[ひかりが丘団地] 昭和44年(1969)入居開始 2,325戸  
 [西ひかりが丘団地] 昭和45年(1970)入居開始 961戸



## 第39景 左近山団地

昭和43年(1968)入居開始 4,797戸



## 第40景 若葉台団地

昭和54年(1979)入居開始 6,302戸





## 第41景 本立寺

日蓮宗池上本門寺の末寺。江戸中期の大奥の「絵島・生島事件」がこの寺と関わっていました。明治時代今宿学舎として使われました。



## 第42景 県立がんセンター

昭和38年(1963)4月に県立成人病センターとして発足しました。平成25年(2013)11月に病院を新築・移転し、平成27年(2015)12月重粒子線治療施設を開設し治療を始めました。



## 第43景 正円寺

浄土真宗の一派である京都佛光寺の末寺で、この寺を開基した1590年から白根地区の三代にわたり地頭であった「藤川拾右衛門重安」の殿墓が境内の墓地にあります。



## 第44景 鎌倉中の道

鎌倉時代、戦などの発生時に、各地の御家人が鎌倉を目指して駆けつける上・中・下の道の古道の一つでした。畠山重忠公も北条時政の謀略で鎌倉に呼び出され合戦となった地です。





## 第45景 薬王寺

以前は今宿南町にあった福泉寺の末寺。火災により寺が焼失し、昭和3年(1928)、畠山重忠公の霊廟として古来からこの地にあった六ツ塚に、現薬王寺として建立されました。



## 第46景 新川家住宅主屋

明治22年(1889)頃建築の古民家で、歴史的建造物に認定されています。入母屋造り、茅葺きで、両側面が兜状になり養蚕場に利用した面影が残り、通風、換気の役目を担いました。20~30年に一度京都から茅葺職人を呼ぶという新川家はこの地で300年以上の歴史のある農家です。※敷地内立入不可。



## 第47景 妙蓮寺

江戸後期より継承されている「曲題目」は神奈川県指定無形民俗文化財に登録されています。境内には鎌倉時代の武将和田義盛の供養塔があります。





## 第48景 よこはま動物園ズーラシア・里山ガーデン



里山ガーデンは、平成29年(2017)に開催された「第33回全国都市緑化よこはまフェア」の郊外部会場として、整備されました。1ヘクタールの大花壇は春と秋に一般公開され、季節の花々を楽しむことができます。

ズーラシア(ZOORASIA)という名称は動物園(ZOO)とユーラシア大陸(EURASIA)を合わせた造語で、平成8年(1996)に市民公募によって選ばれました。「ユーラシア大陸のように広大」という意味が込められています。



## 第49景 福泉寺

曹洞宗の寺で徳川家より10石の朱印地を下付されており、明治の頃川井学舎として使用されました。素晴らしい山門があります。





# 第50景 旭区のランドマーク(ココロット・グレースィアタワー)

二俣川・鶴ヶ峰駅周辺は、横浜市都市計画マスタープラン旭区プランにおいて、主要な生活拠点として位置付けられています。両駅周辺には、高層マンションが完成し、区の中心部に2つのランドマークが誕生しました。

ココロット鶴ヶ峰 平成19年(2007)完成29階建て  
グレースィアタワー二俣川 平成30年(2018)完成29階建て



ココロット鶴ヶ峰



グレースィアタワー二俣川

